

ZEBRA RFD2000 + ZEBRA TC20 の使い方

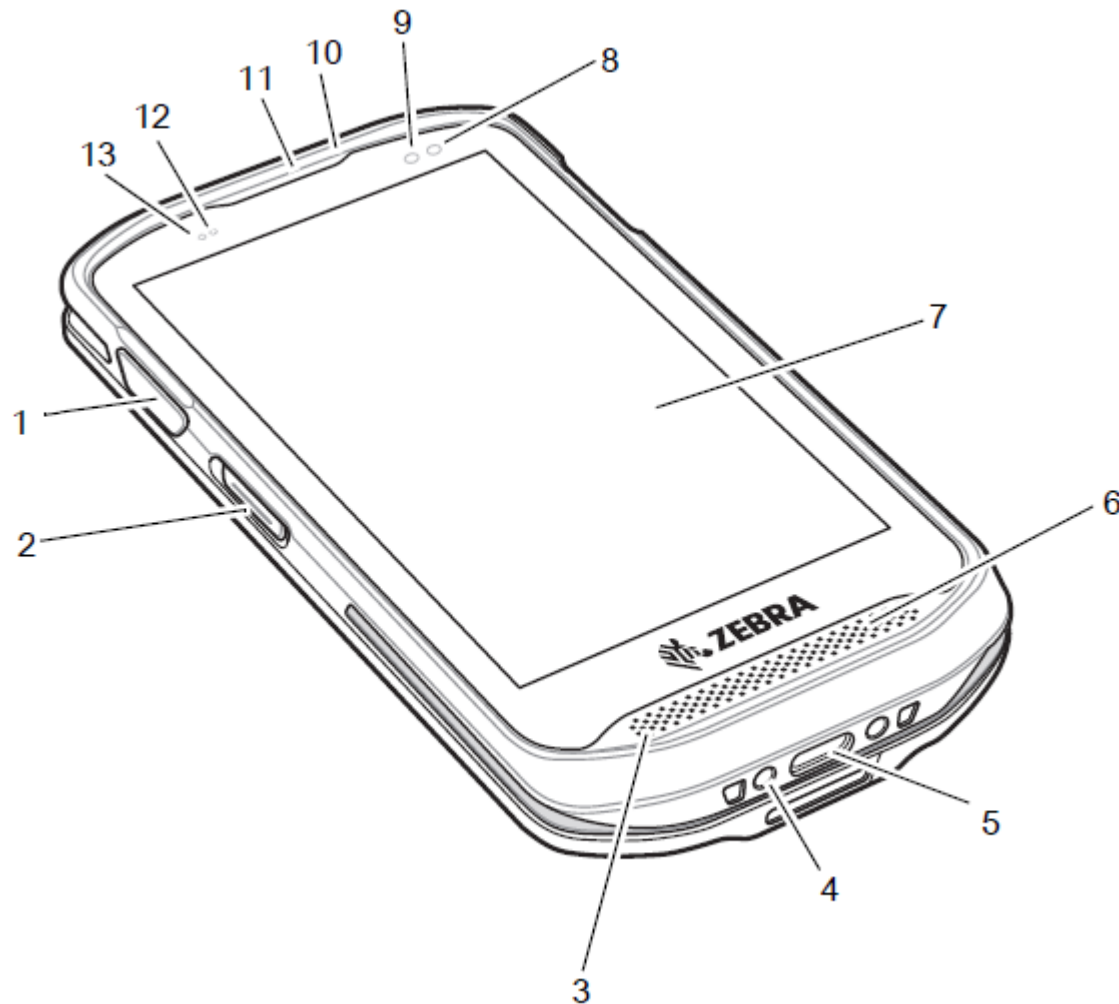
－ マニカ エクセルツール －

2019年 6月 28日

システム構成と条件

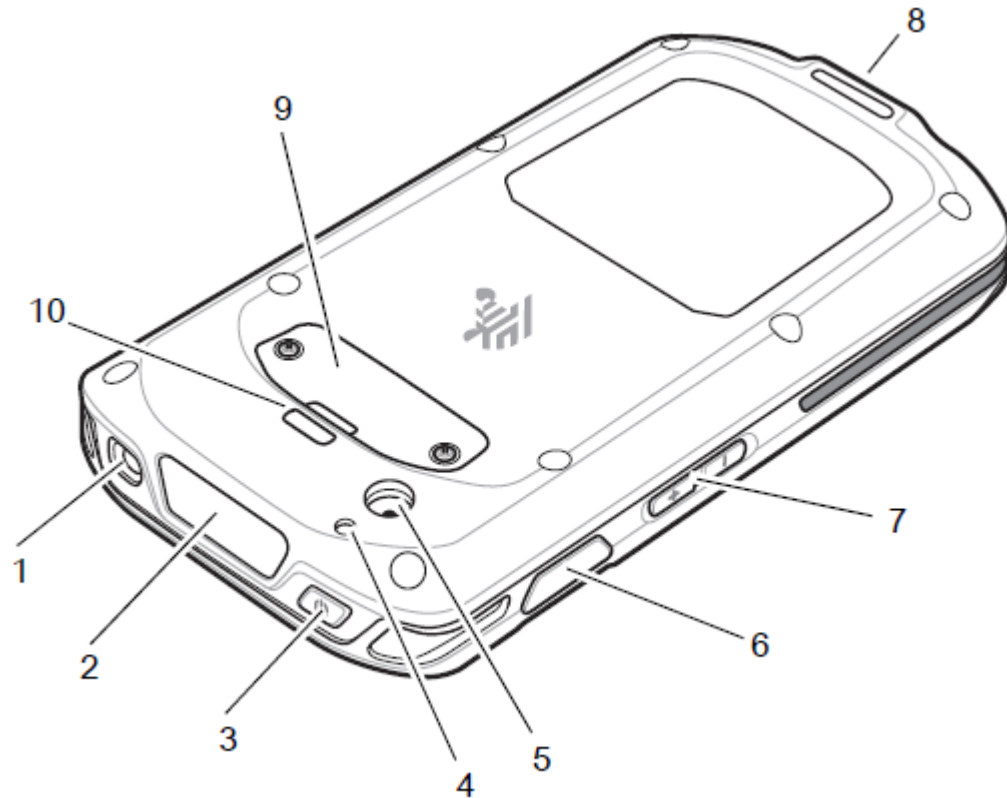
- Wi-Fiルーター
 - DHCPサーバー機能があること。
 - Macアドレスを指定して固定IPアドレスを払い出す機能があること。
(エクセルツールを使用するスマホは固定IPアドレスが必要です。)
- Windows PC
 - Wi-Fi接続できるもの。
 - Windows7またはWindows10。管理者権限でログインできるユーザーID。
 - Microsoft Excel 2007、2010、2013、2016
 - Excel 2016が2018年以降のプレインストール版の場合は再インストール必要。
- RFIDハンディターミナル ZEBRA RFD2000 + ZEBRA TC20
- ICタグ
 - EPCglobal Class 1 Generation. 2に準拠したICタグ。

ハンディターミナル ZEBRA TC20 各部の名称(正面の図)



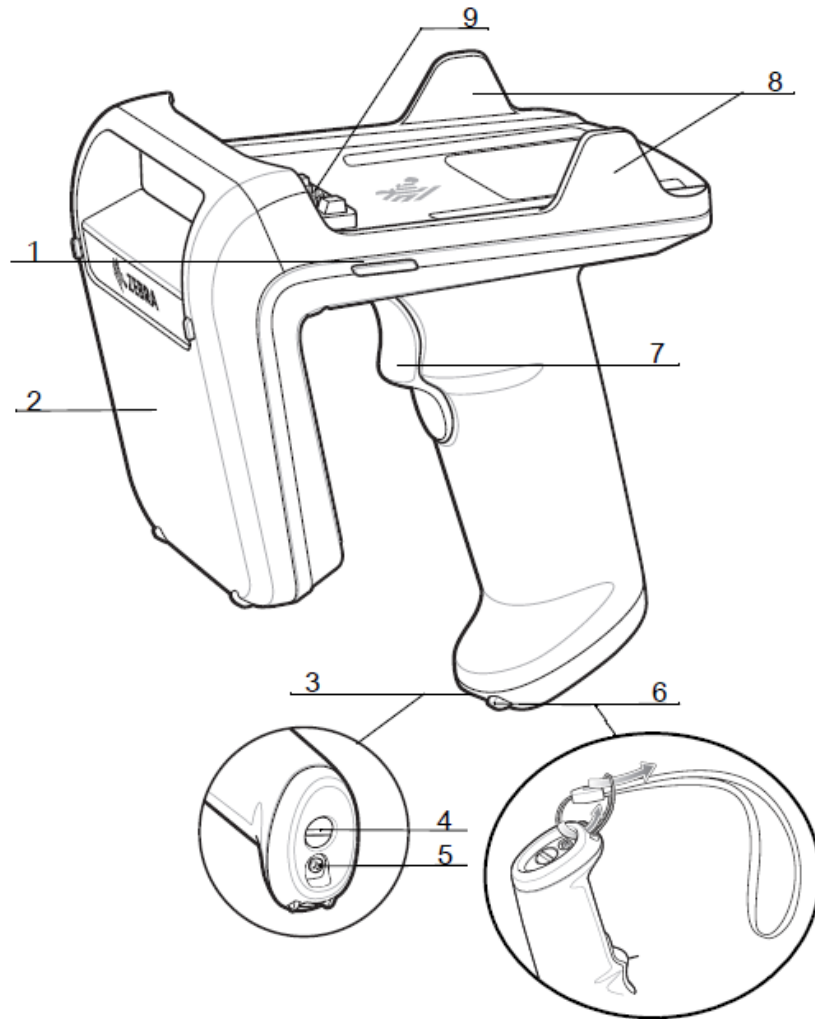
- ・①**スキャナボタン**：データの収集を開始します。黄色いボタン。
- ・②**PTTボタン**：プッシュトゥートーク通信を開始します。
- ・③**マイク**：ハンドセットモードでの通信に使用します。
- ・④**電源端子**：TC20の充電に必要な電力を供給します。
- ・⑤**インタフェースコネクタ**：USBホスト、クライアント通信、ケーブルおよびアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
- ・⑥**スピーカ**：ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。スピーカーフォンモードで音楽を出力します。
- ・⑦**タッチスクリーン**：TC20の操作に必要なすべての情報が表示されます。
- ・⑧**充電/通信LED**：充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
- ・⑨**データ収集LED**：データ収集ステータスを示します。
- ・⑩**マイク**：スピーカーフォンモードでの通信に使用します。
- ・⑪**レシーバ**：ハンドセットモードでのオーディオ再生に使用します。
- ・⑫**RFIDアンテナ**：RFIDアンテナが格納されています。
- ・⑬**光センサ**：ディスプレイバックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
- ・⑭**近接センサ**：ハンドセットモードでディスプレイをオフにする場合の近接状態を判別します。

ハンディターミナル ZEBRA TC20 各部の名称(背面の図)



- ・①ヘッドセットジャック：ヘッドセットへのオーディオ出力用。
- ・②イメージャウインドウ：イメージャを使用したデータ収集に使用します。
- ・③電源ボタン：ディスプレイのオン/オフを切り替えます。ボタンを押し続けると、デバイスのリセットまたは電源オフを行うことができます。
- ・④カメラフラッシュ：カメラの照明に使用します。
- ・⑤カメラ：写真やビデオを撮影します。
- ・⑥スキャンボタン：データの収集を開始します
- ⑦音量上/下ボタン：音量のボリュームを上げ下げします。
- ・⑧ハンドストラップの取り付け箇所：ハンドストラップを掛ける際に使用します。
- ・⑨アクセスドア：microSDカードスロットにアクセスできます。トリガーハンドル用の2ピンアクセスドア。
- ・⑩ハンドストラップの取り付け箇所：ハンドストラップを掛ける際に使用します。

ハンディターミナル ZEBRA RFD2000 各部の名称



- ・ ①LEDインジケータ
- ・ ②RFIDアンテナ
- ・ ③バッテリー収納部
- ・ ④バッテリーケースラッチ
- ・ ⑤バッテリーケースネジ
- ・ ⑥ストラップフック
- ・ ⑦トリガー
- ・ ⑧保持クリップ
- ・ ⑨TC20用コネクタ

スマートフォンのマニカ エクセルツール アプリケーションの導入設定



MANICA EXCEL TOOLへようこそ。設定してください。

リーダーを選択

PCとの接続方法を選択

OK

リーダーとPCとの接続方法をタップしてリストから選択する。

MANICA EXCEL TOOLへようこそ。設定してください。

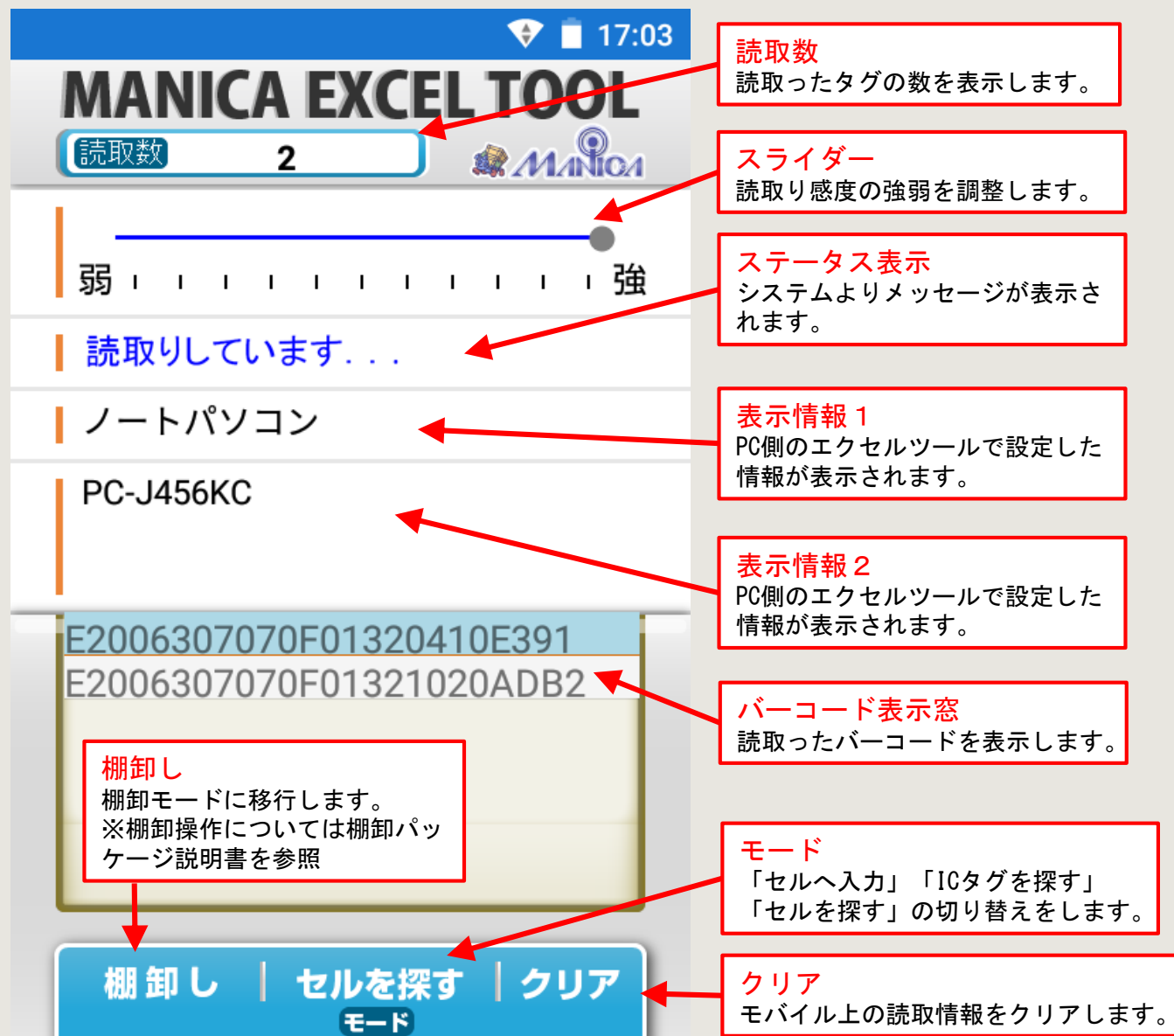
ZEBRA RFD2000

Wifiで接続

OK

リーダー：ZEBRA RFD2000
PCとの接続：Wifiで接続（自動選択）
を選択し、OKボタンをタップします。

スマートフォンのマニカ エクセルツール アプリケーションの名称



MANICA EXCEL TOOL

17:03

読取数 2

弱 | | | | | | | | | 強

読取りしています...

ノートパソコン

PC-J456KC

E2006307070F01320410E391

E2006307070F01321020ADB2

棚卸し
棚卸モードに移行します。
※棚卸操作については棚卸パッケージ説明書を参照

棚卸し | セルを探す | クリア
モード

読取数
読取ったタグの数を表示します。

スライダー
読取り感度の強弱を調整します。

ステータス表示
システムよりメッセージが表示されます。

表示情報 1
PC側のエクセルツールで設定した情報が表示されます。

表示情報 2
PC側のエクセルツールで設定した情報が表示されます。

バーコード表示窓
読取ったバーコードを表示します。

モード
「セルへ入力」「ICタグを探す」「セルを探す」の切り替えをします。

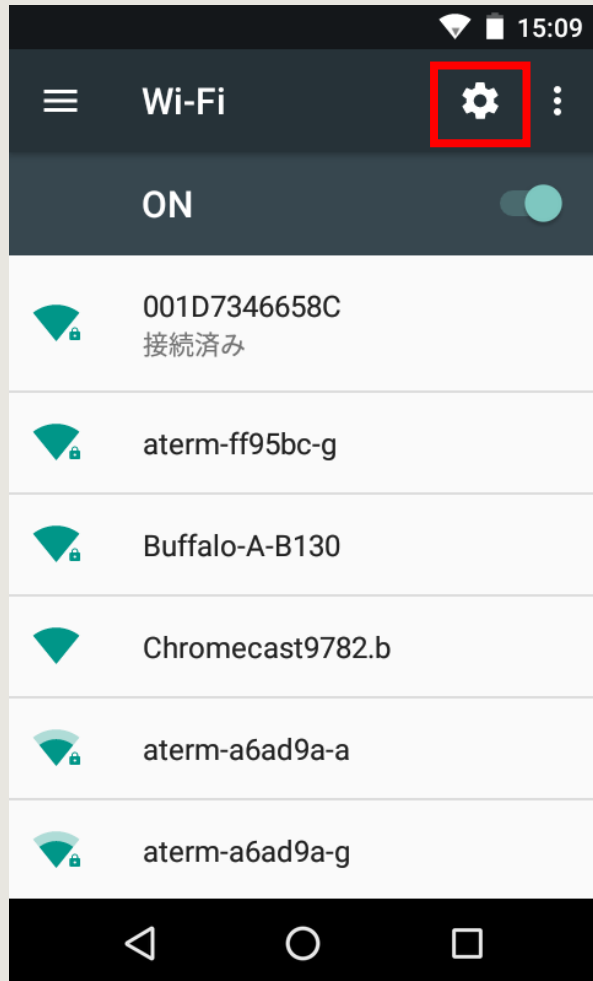
クリア
モバイル上の読取情報をクリアします。

スマートフォンのIPアドレス

スマートフォンにおいて

「設定」→「Wi-Fi」を開いてください。

右上の歯車ボタンを押して、一番下に「IPアドレス」があるので参照してください。



PCのエクセルツールの設定

起動時の機能

セルを探す

セルへ入力する

☒ セル入力時に上書しない

☒ タグが重複した場合警告を表示

☒ 重複したタグは入力しない

☐ セルの幅を自動調節する

☐ セル入力時にマクロを実行する

マクロ

ICタグを探す

☒ ICタグ発見時にメッセージボックスを表示

☐ ICタグ発見時にマクロを実行する

マクロ

☐ 該当タグでない時にマクロを実行する

マクロ

☐ サウンドを鳴らさない

キャンセル OK

セルを探す

☐ 背景色を変える

セル検索時の背景色 変更

☐ 右側に読取時刻を入力する

☐ 1つ右のセルに強制的に inputsする

☒ 空いているセルに inputsする

☒ セル発見時にマクロを実行する

マクロ セル発見_Start

☒ セルが見つからない時にマクロを実行する

マクロ セル未発見

マクロ実行コマンドボタン

☒ 新規 新規登録_Start

☒ 貸出・返 貸出

☐

☒ 棚卸クリア 棚卸_Clear

☒ バックアップ Backup

DENSO3 ZEBRA ZEBRA2

☒ リーダーを使用する

接続ポート

画面表示情報1 B列

画面表示情報2 C列

☒ Wifi接続 IP 192.168.0.110

ZEBRA UHF ハンディリーダー RFD2000 UHF 帯

・優れた人間工学設計

・3つのフレキシブルなモード

・取り付け取り外し簡単

PCのエクセルツールは「アドイン」タブの「設定」を押すと設定画面が表示されます。

「ZEBRA」タブを選択してください。

「リーダーを使用する」にチェックを入れてください。

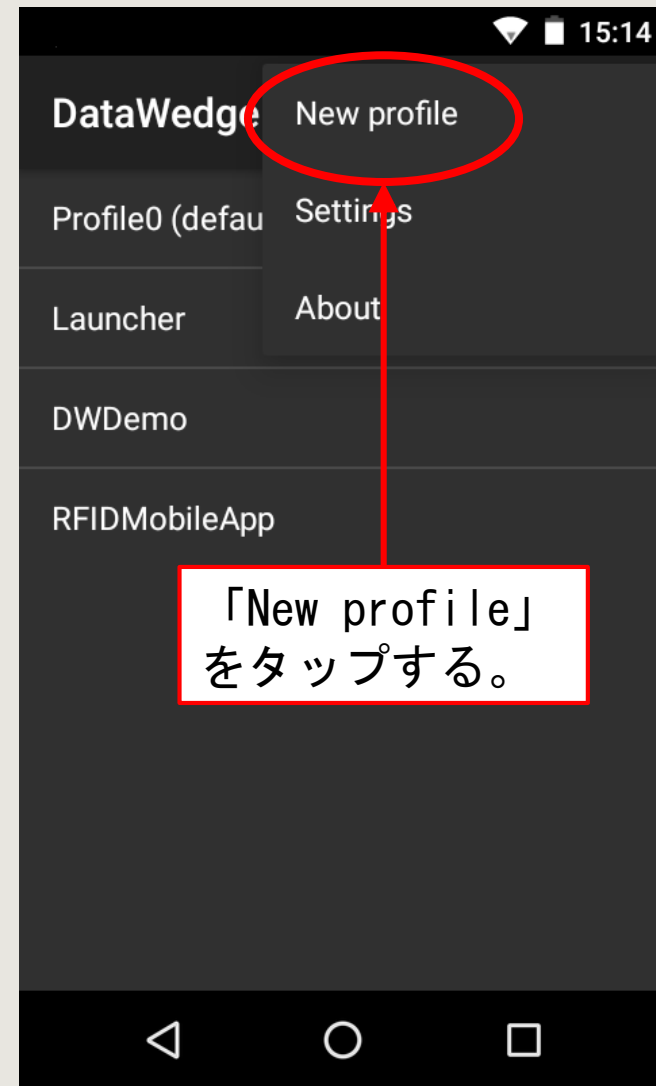
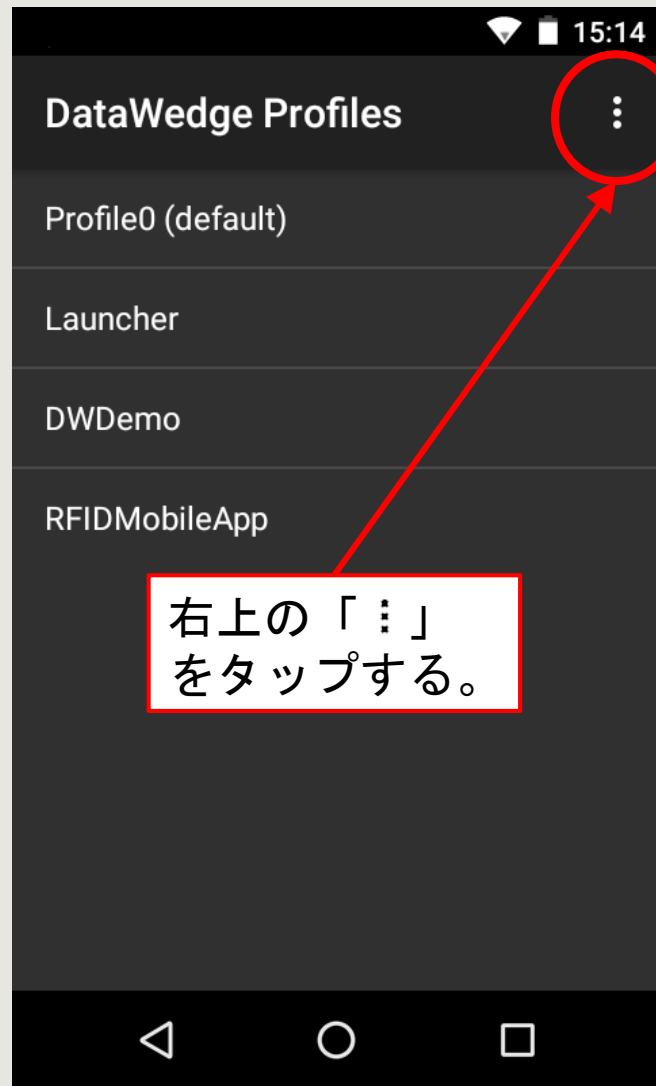
「Wifi接続」にチェックを入れてください。Wi-Fiルーターで設定した、固定IPアドレスを入力してください。

RFD2000とTC20の操作

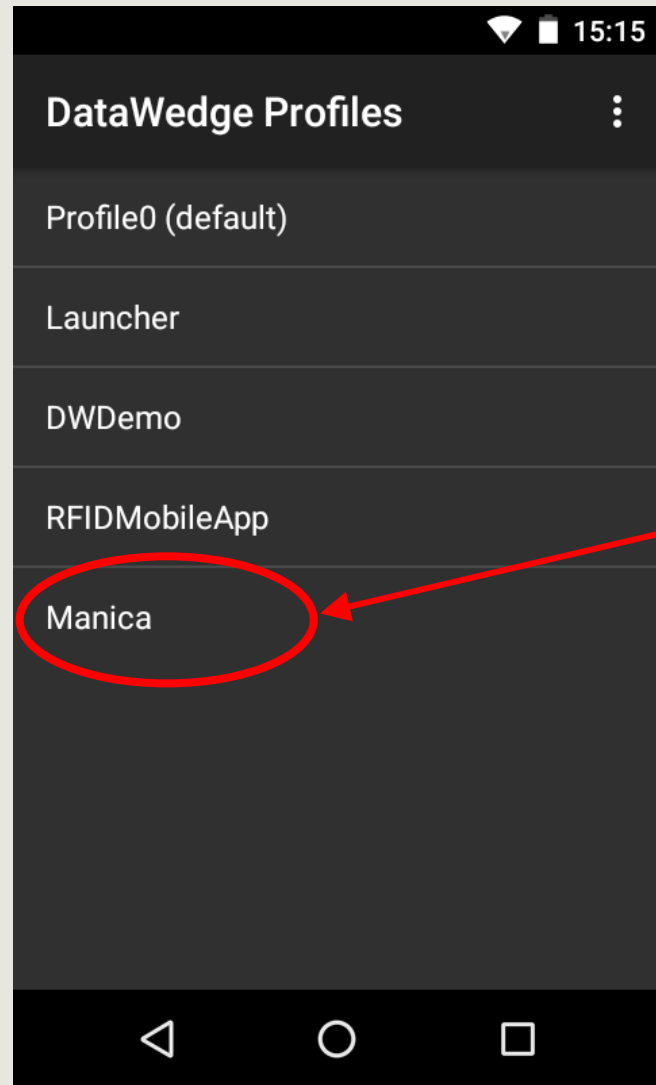
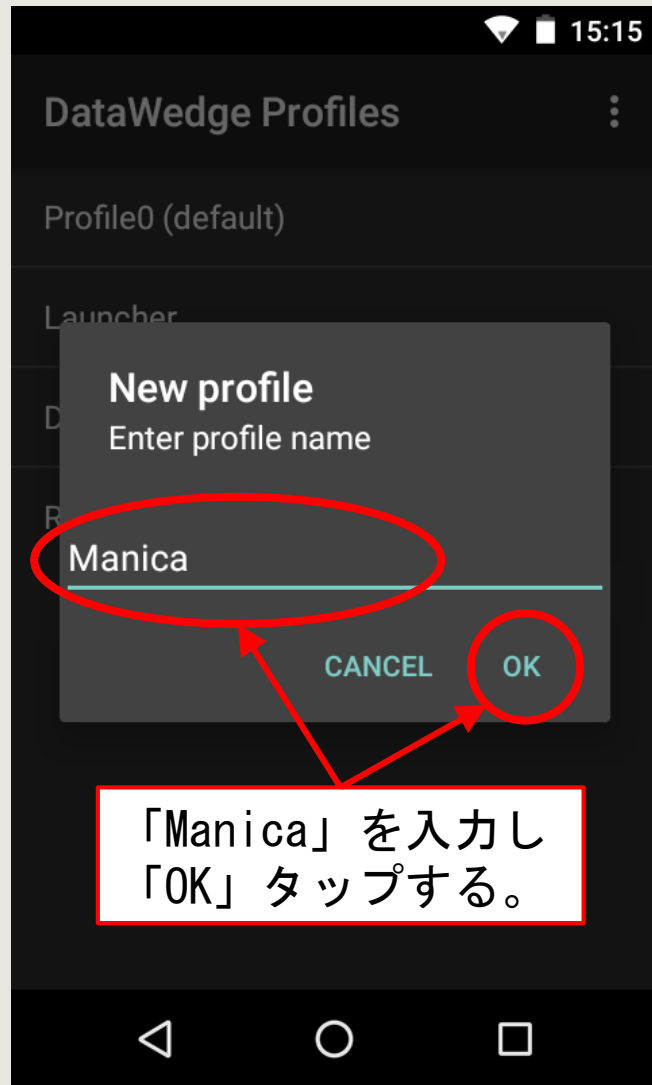
RFD2000とTC20の 안드로이드用マニカ エクセルツールには設定手順があります

- ①バーコード機能を登録する
- ②バーコード機能の設定を変更する
- ③アプリ情報を表示する
- ④最後にアプリの権限を付与する

①バーコード機能を登録する

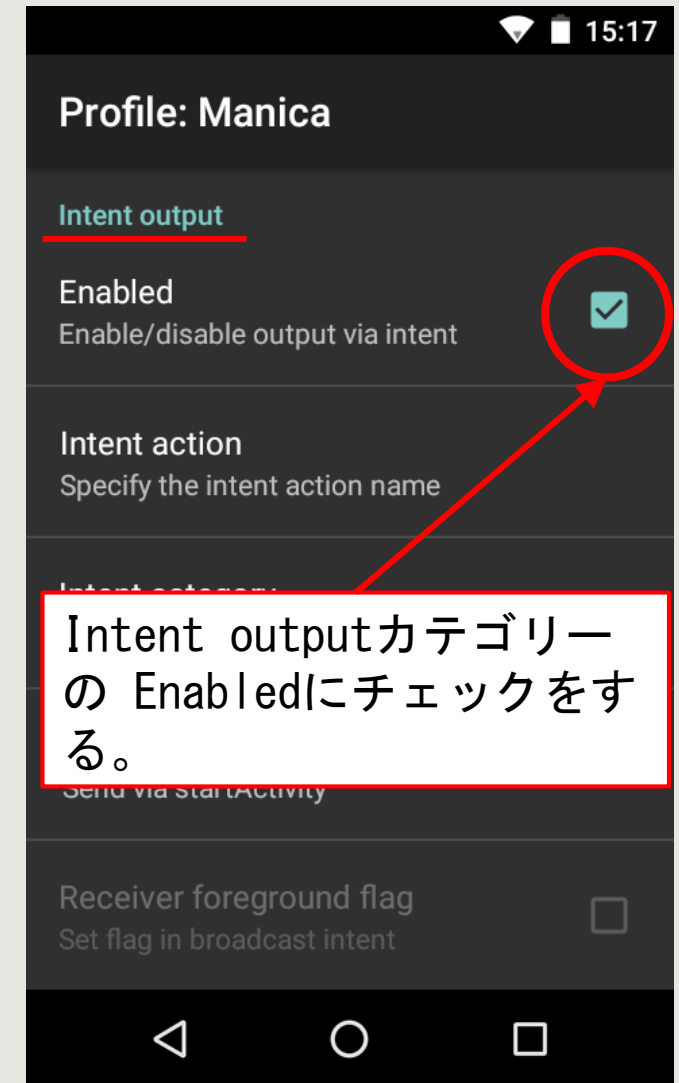
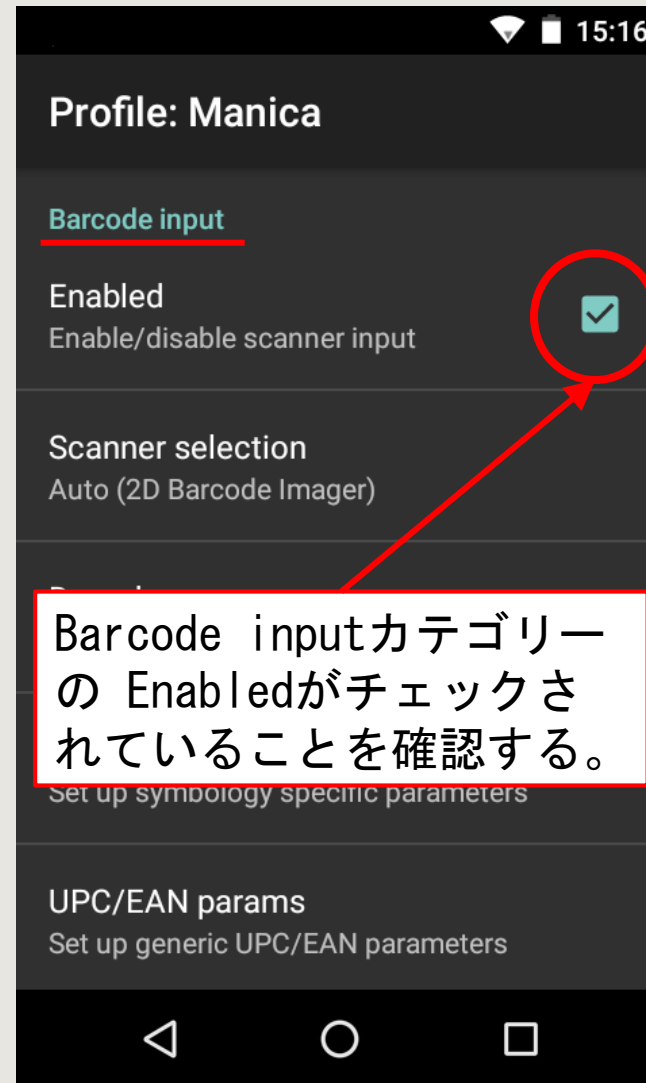
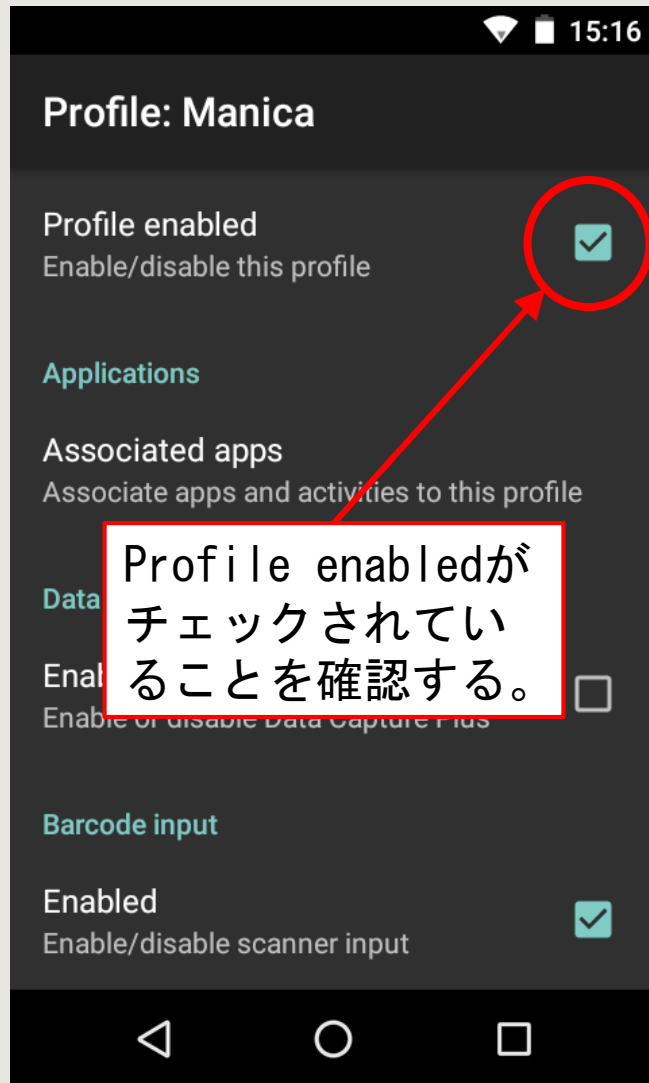


①バーコード機能を登録する(続き①)

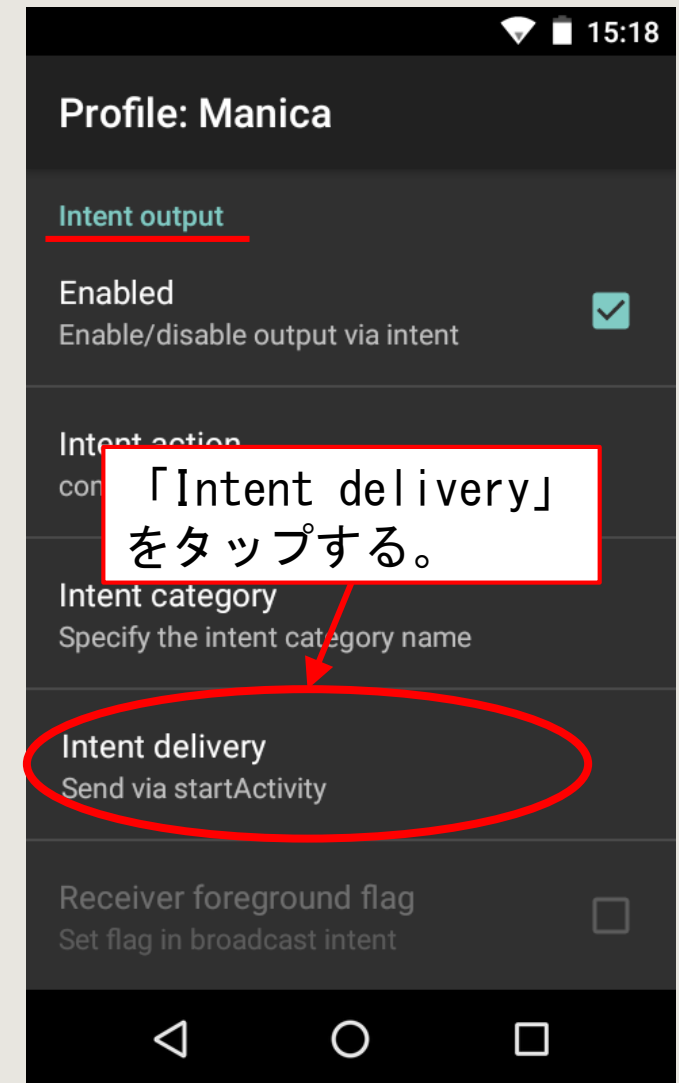
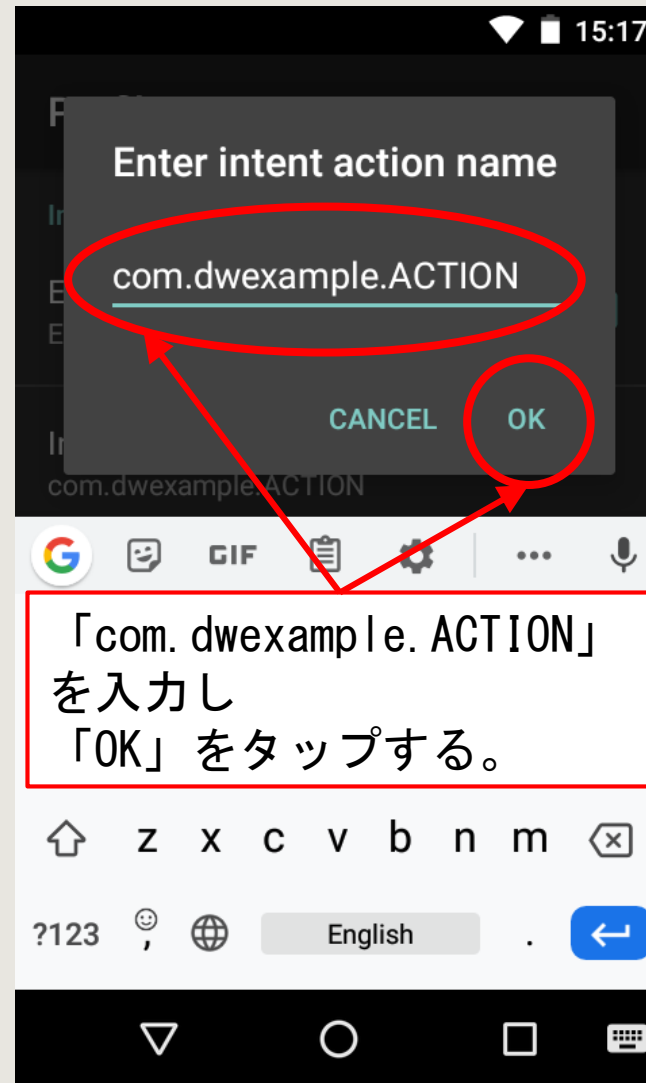
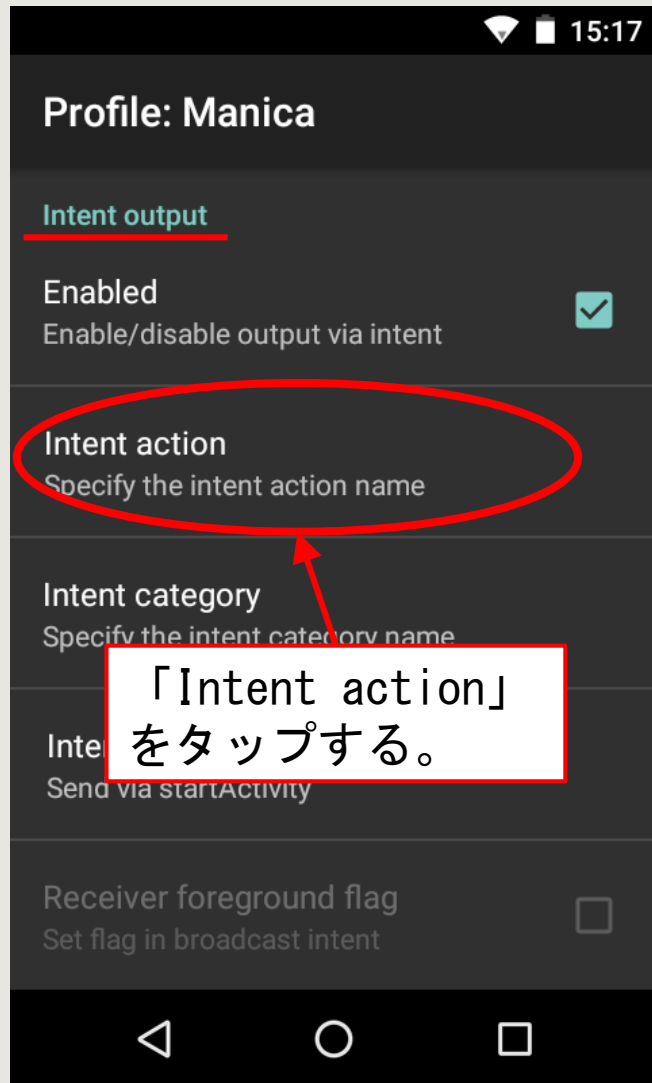


「Manica」が登録される。
次に「Manica」をタップ
して設定を変更してくだ
さい。

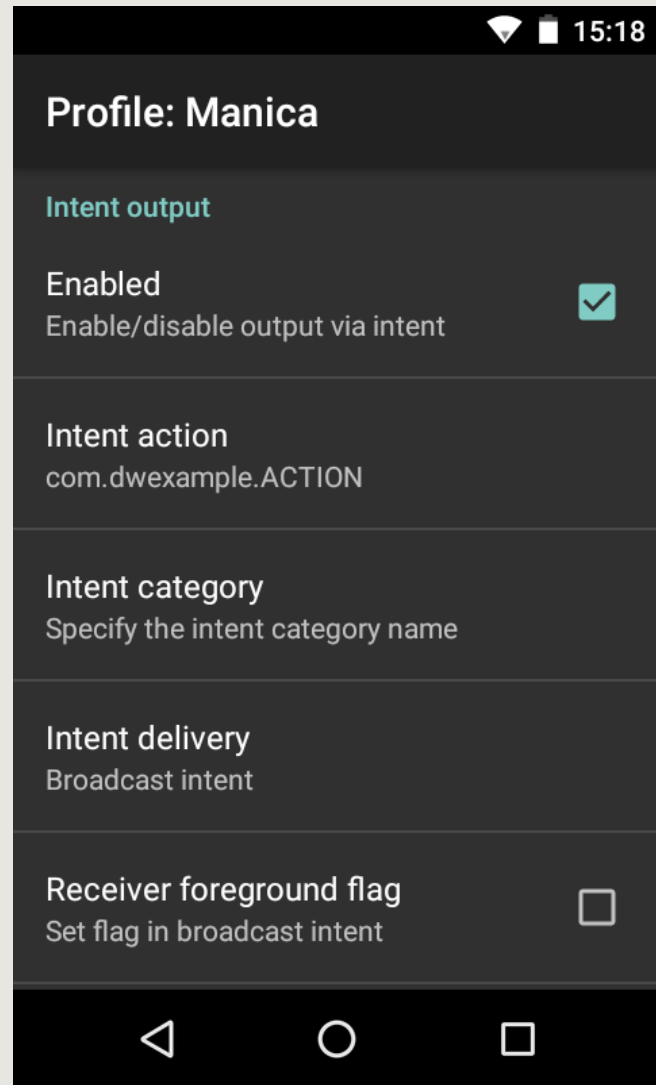
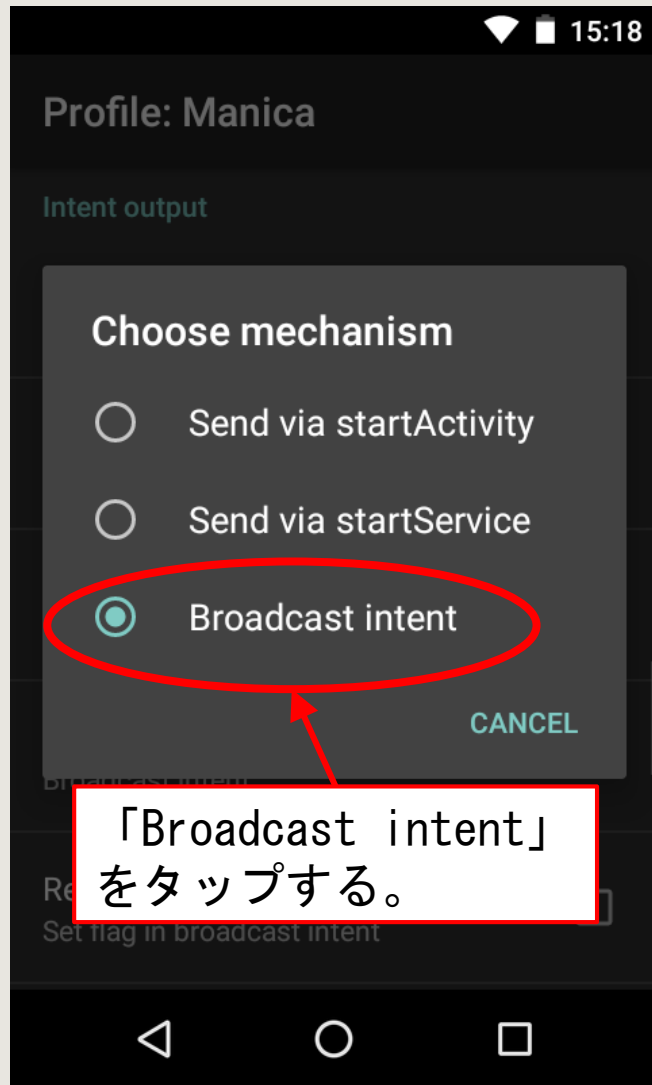
②バーコード機能の設定を変更する



②バーコード機能の設定を変更する(続き①)



②バーコード機能の設定を変更する(続き②)

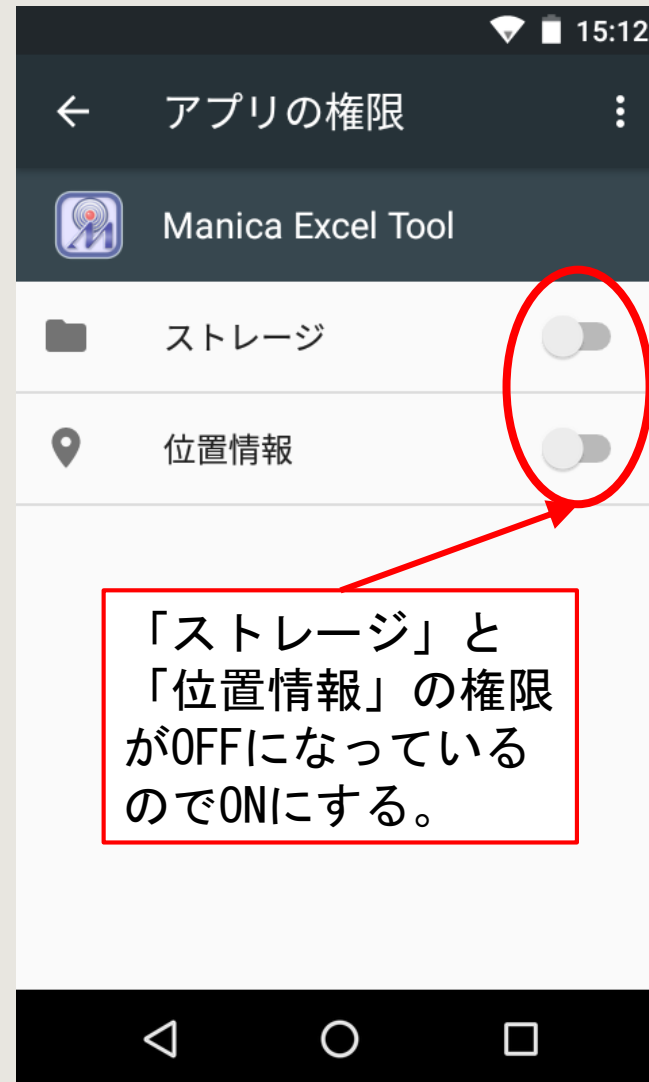


設定は以上です。
「DataWedge」を終了
してください。

③アプリ情報を表示する

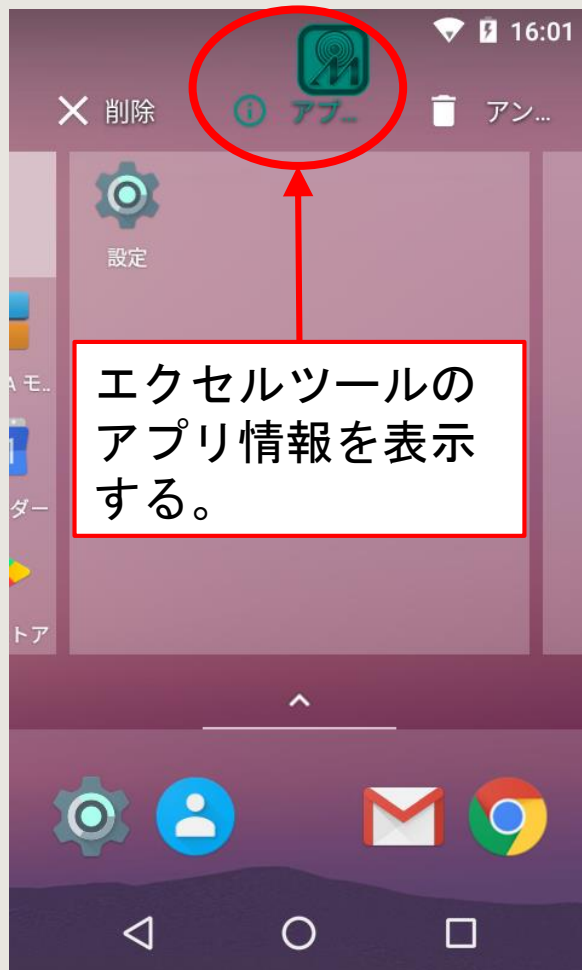


④最後にアプリの権限を付与する



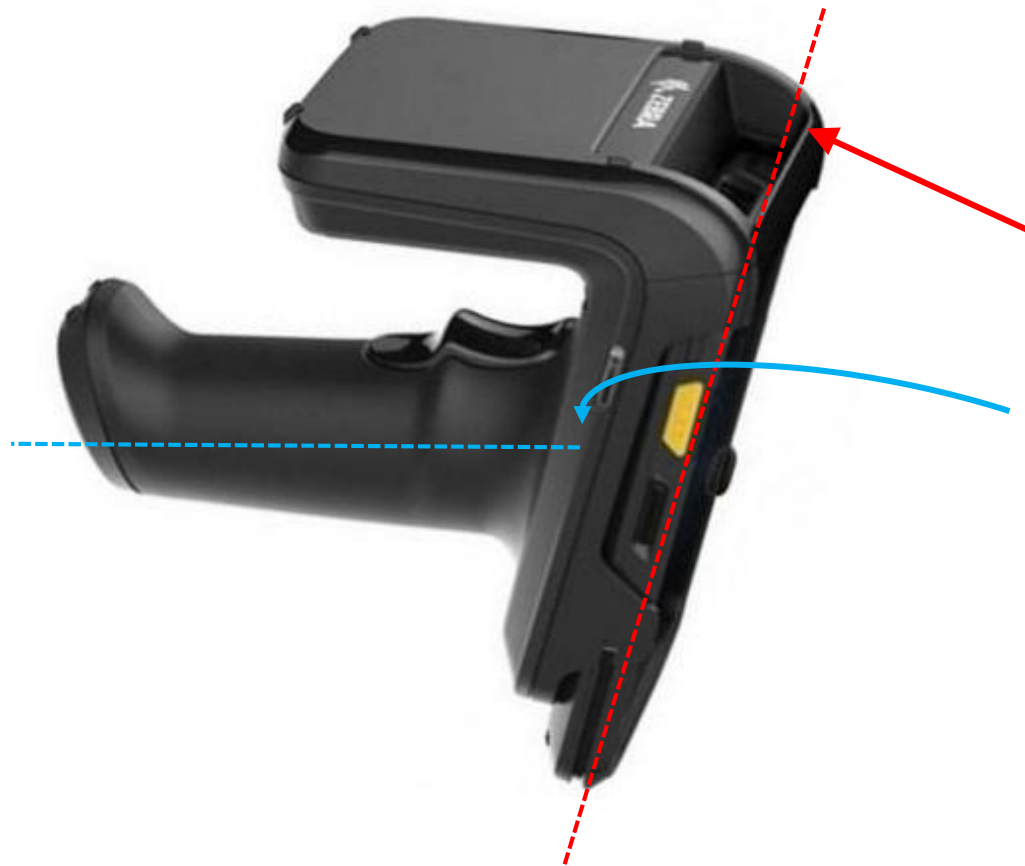
エクセルツールを終了する

エクセルツールを終了するためには、アプリ情報を開いて「強制終了」を実行してください。



RFIDタグとバーコードの 読み取りモード切り替え方法

読み取りモードの変更方法



■RFIDタグとバーコードの読み取りモード切り替え
読み取りモードの切り替えを行うためには、TC20を斜めにし1秒間固定する必要があります。
ハンディを持った状態からだと内側に少し反った状態となります。

目安としてはハンディのグリップを水平にした状態で1秒間固定します。

読み取りモードが切り替わると「チューンツ」というビーブ音が鳴りトリガーを押すことで読み取りを開始します。



最終ページ

ご質問・ご希望はカスタマーサービスへメールください。

ご注意

当資料に含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、株式会社ハヤト・インフォメーションの正式なレビューを受け
ておらず、当資料に記載された内容に関しては株式会社ハヤト・インフォメーションが何ら保証するものではありません。

従って、この情報の利用は使用者の責任において為されるものであり、資料の内容によって受けたいかなる被害に関しても一
切の保証をするものではありません。

当資料をコピー等で複製することは、株式会社ハヤト・インフォメーションおよび執筆者の承諾なしではできません。

当資料に記載された製品名または会社名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。